

会 議 録

会 議 の 名 称	令和6年度第1回新座市商工委員会
開 催 日 時	令和7年1月29日（水）14時～15時
開 催 場 所	市役所本庁舎5階 第2委員会室
出 席 委 員 （ 敬 称 略 ）	上島博会長、金子和男副会長、谷地田庸子、笠原進、小泉哲也、山野辺範一、岡野裕子、関根裕之、山本宣生、酒井裕一、土屋俊弘、栗原理恵（計12名）
事 務 局 職 員	今村産業振興課長、榎谷副課長、石原地域のしごと応援室長、櫻井主事
会 議 内 容	1 にいぎビジネスサポート事業の進捗状況について 2 令和7年度商工関係事業（案）について 3 その他
会 議 資 料	・説明資料（議題1、議題2） ・にいぎビジネスサポートパンフレット ・特定創業支援事業パンフレット
公開・非公開 の 別	① 公開 2 一部公開 3 非公開 (傍聴者 0 人)
そ の 他 の 必 要 事 項	

審 議 の 内 容 (審議経過、結論等)

1 開会

2 あいさつ

3 会議事項

(1) にいぎビジネスサポート事業の進捗状況について

(事務局) 説明資料に沿って説明

(2) 令和7年度商工関係事業(案)について

(事務局) 説明資料に沿って説明

(委員) 市制施行55周年記念マルシェ事業について、市の産業の魅力発信に繋がるとてもいい事業だと思う。こちらについて3点質問させていただきたい。

- ① 開催場所はどこか
- ② 商工会の会員ではない事業者も参加できるのか
- ③ 飲食店以外にも技術をアピールするような事業者も参加が可能か

(事務局) (①について) 令和7年11月1日に市役所第二庁舎入口前のウッドデッキ周辺を中心として開催を予定しているが、今後の調整によっては、公用車第一駐車場辺りまで場所を広げることも検討している。

(②について) 参加者については、にいぎビジネスサポート事業の利用者を中心とすることを予定している。

(③について) 飲食業やそれ以外の業種も含めて広く募集する予定であるが、現在にいぎビジネスサポート事業の利用者を中心に声かけをしており、サービス業を行う事業者が多いため、サービス業関係のブースが多くなると思われる。

(委員) 要望となるが、国の補助金が募集された際の周知をもう少ししてほしい。例えば、事業再構築補助金の第13回目の公募が開始されており、3月26日に締め切りとなっている。また、

令和6年度補正予算事業としてもものづくり補助金の実施が決まったが、そういった補助金を知らない方が多いように思う。これらの補助金は応募するだけでなく、計画が審査に通らなければ意味がないので、補助金の周知と併せて申請書作成のサポートもすることで、活性化につながるのではないかと思う。

また、事業再構築補助金については採択率が非常に悪くなっており、市内の事業者は1社も採択されていない。この補助金はコロナ禍後から審査が厳しくなっており、しっかりした申請書を作らないと審査に通りにくくなっている。せっかく国から補助金が出ているので、周知と併せて審査に通るような計画の作り方を教える機会をにいぎビジネスサポート事業で作ってほしい。

(3) その他（各委員からの意見・提案）

(委員) 雇用状況については、現在人手不足と言われてはいるものの、ハローワーク朝霞の管轄内では求人倍率が0.6で推移しており、本来であればもっと求職者が来てもいいような状況ではある。どうしても地域柄東京都に隣接していることもあり、都内に優秀な人材が流れてしまっているのが現状である。

(委員) にいぎビジネスサポート事業について、非常に素晴らしい取り組みだと思う。弊行も旧川越支店を活用してインキュベーション施設を開業しており、3月19日に新座市内の事業者のパネラーとして登壇いただくセミナーを行う予定である。埼玉県内でも起業を試みている方が多くいるなかで、相談できる窓口は多くあったほうが良いと思うので今後も続けていただきたい。

市制施行55周年記念マルシェ事業については、例えば東久留米市だと駅前のロータリーでナイトマルシェを行っていた。そのようにマルシェにテーマ性を持たせるとにぎわいが創出されて良いのではないかと思う。

(委員) AIの活用が今後さらに普及していくと思うが、にいぎビジネスサポート事業においてビジネス計画の立案、業界分析等にAIを使ってはどうか。AI技術を活用して相談業務を行っていることがアピールできれば、AI技術をどのように活用していけばいいかわからないような方たちにも響くのではないかと

思うので、そのあたりの取組も考えてみてほしい。

(委員) にいぎビジネスサポート事業や特定創業支援について、とても良い取組だと思うので、今後もブラッシュアップして行っていただければと思う。

(委員) 市制施行55周年記念事業について、式典のみだとなかなか人が集まらないと思うので、アピールが必要であると思う。商工会としてもそのあたりの協力ができれば良いと思う。また、持続化補助金の電子申請がとても煩雑なので、申請についてのサポートがあるといいと思う。

(委員) にいぎビジネスサポート事業について、初めて詳しい説明を聞いたが、良い取組だと思った。補助金や制度の周知も含めて今後もやっていただきたい。

(委員) 市の制度融資について、自分自身が事業者として融資制度を使ったことがないため、会社を大きくするために融資等を使ったほうがいいのかどうか等の相談できる機会があると良いと思う。

(委員) 自立して何か事業をしたいというやる気のある女性の創業が多くなっているように感じる。さらに情報の周知をしてわかりやすくすることで、創業について悩む方を減らせるのではないかと思う。

(委員) 他市からの議員視察受入れにおいて、にいぎビジネスサポート事業についての件数が一番多く、この事業を勉強するために新座市に来る自治体が多い。今まで商工関係の事業でこの件数の視察が来ることはなかったように思う。そういう意味でも他市からこの事業が注目されているということだと思うので、さらに盛り上げてほしい。

また、市の予算全体で見たときに、商工業の予算が占める割合は本当に少ない。そのなかでも商工業の予算は融資関係が多くを占めている。地域経済の活性化のためには、もっと商工業の予算を多く組まなければいけないが、そのためには市長以下幹部職員が現場に行き、事業主や会社が何で悩んでいるのか、声を聞くことが大切だと思うので、現場訪問をしながら施策をしてほしい。

(委員) 無料で何度でも相談ができるということで、にいぎビジネス

サポート事業を利用しているという声を聞く。私も微力ながら市のホームページにある事業者紹介で掲載されている事業者のSNSをフォローして、その事業者がどんな事業をしているかを見せていただいている。これからはSNSやAI技術の活用が必要な時代でもあると思うので、相談先についての周知と併せてそれらの活用の仕方について相談しやすい環境をすることで、にいぎビジネスサポート事業を大きくして行ってほしい。

4 閉会